

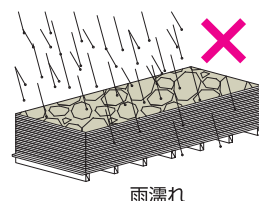
認定番号	面材くぎ	くぎ間隔	縁端距離	柱、横架材	間柱	継手間柱	壁倍率
FRM-0173	N50	外周100以下 中通200以下	15 程度	105×105 以上	30×60 以上	45×60 以上	2.9

適用範囲

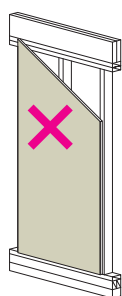
- 建築基準法施行令第40条～第49条(ただし、第48条を除く)に準拠した木造軸組
- 当該耐力壁を建築基準法施行令第46条第4項表1に掲げる壁もしくは筋かいと併用する場合は、5を限度としてそれぞれの倍率を加算できます。

禁止事項

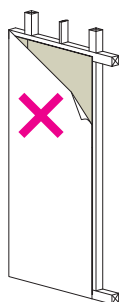
- 枠組壁工法の耐力壁には使用できません。
- 透湿性がない防水紙を使用しないでください。
- 保管中は『あんしん』を雨に濡らさないでください。
- 濡れている『あんしん』を施工したり、濡れている『あんしん』に防水紙を施工しないでください。
- 『あんしん』を以下の用途に使用しないでください。
仕上げ材、塗装下地材、タイル下地材、モルタル下地材(直塗り)、内装下地耐力面材
- 『あんしん』に直接、エアコン室外機や給湯器等の重い物を取り付けしないでください。
(重い物は躯体に取り付けてください。)



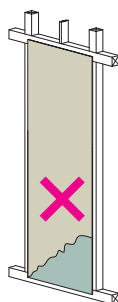
雨濡れ



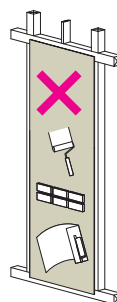
枠組壁工法



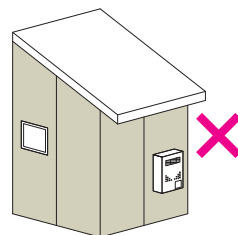
透湿性なし
防水紙



濡れている
『あんしん』施工



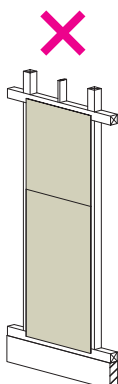
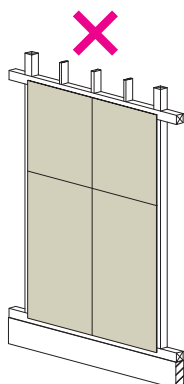
塗装、タイル、
モルタル下地材



重い物

注意事項

- 『あんしん』の取り付けには、鉄丸くぎ N50 (JIS A 5508:2005) を用いてください。
- 『あんしん』の表面には、くぎの種類、くぎ間隔及びくぎ打ち線が印字されています。
- 『あんしん』は防水紙等で有効に防水されている部分に使用してください。
- 耐力壁とする部位には、開口を設けないようにしてください。直径 100 ～ 150mm 程度の貫通孔、300mm 角以下の換気扇用の孔^{*2}は、一般には、開口に該当しないとされていますが、判断については、あらかじめ指定確認検査機関等に確認してください。
^{*2} 孔の周囲に継手間柱と同じ断面寸法の木材を組み、N50 を用いて、孔の周囲 @100mm 以下で打ち付けた場合。
- 『あんしん』と外壁材に通気層を設け、壁の水分・湿気を排出させる外壁通気構法を採用してください。
※水分・湿気が滞留すると、『あんしん』の性能が損なわれるおそれがあります。
- 壁倍率 2.9 は壁の高さ方向に継手を設けしないでください。(下図のように継手を設けると、耐力壁になりません。)



- 『あんしん』の保管及び取り扱い上の注意事項については、P18 をご確認ください。